

事業報告書

平成28年度社会福祉法人北海道家庭学校事業報告書

〔 概況 〕

1 児童自立支援施設「北海道家庭学校」の概況

(1) 28年度の暫定定数は31名でした。28年度に入所した児童は15名。退所児童は20名でした。29年3月の初日在籍数は24名で、月末の在籍は15名でした。

(2) 個別的・専門的な対応の必要な児童への配慮

入所児童のうち被虐待経験のあるケースが約8割、発達障害を抱えるケースが約9割おりました。劣悪な養育環境のもとで育った児童や、集団の中で生活を送ることが困難な児童が増えています。28年度中に心理士により32名の児童に対して延168回の心理面接を行いました。外部講師を招いての講座も性教育を2回、薬物乱用防止を1回実施しました。

(3) 分校と連携しての学習支援

入所児童は本館において、遠軽中学校・東小学校それぞれの望の岡分校による授業を受けています。月曜・火曜・木曜の午後には作業班学習として作業を分校の授業の中に取り入れており、家庭学校の職員とともに指導に当たっていただいています。行事においては、分校主催の行事、家庭学校主催の行事、及び共催の行事を開催し、連携を深めています。

(4) 中卒児童への支援

義務教育を終了している中卒児童への支援は、児童それぞれの進路に応じたプログラムを用意して対応しました。

高校生への対応は、遠軽高校定時制への通学時の送り迎えや、実習先への送り迎え、紋別高等養護学校寄宿舎への送り迎えなどを行い、卒業に向けた支援を行ってきました。

1月に在籍児童が「がんぼうホーム」に移動して退所し、平成7年に開始した高校生寮を閉寮しました。

2 自立援助ホーム「がんぼうホーム」の概況

1. 事業の種類 児童自立生活援助事業（第二種社会福祉事業）

2. 住所 遠軽町南町1丁目3-144

3. 定員 男子6名《平成29年3月31日現在 3名入居》

4. 開設 平成29年1月1日

5. 職員 支援職員 4名（内1名はホーム長を兼ねる）

6. 事業の概容

区分	主な動き	支援の内容			関係機関等との連携
		生活支援	就労支援	就学支援	
H28 12.20 12.24 H29 1.1	ホームの建物竣工 引越 事業開始	体験入居の受け入れ準備	(事前準備) 職場実習先(家庭学校の中卒児童の受入先)と協議、町内の	(事前準備) 遠軽高等学校 全日制・定時制に説明	・北海道オホーツク総合振興局 建物完成確認検査、事業開始届 ・北見児相（当ホ

			雇用状況把握、 就労先探し		ームの窓口)へ事業開始の連絡
1. 4	T 君 (中央児相・家庭学校) 体験入居	日常的な支援を開始	就労を継続できるよう支援	クラブ活動に向け支援	
1. 10	児童福祉司、T 君の面談に来訪				中央児相が児童の入居意向を確認、入居手続きに入る
1. 11	I 君 (札幌市児相・家庭学校)、T 君 (中央児相・家庭学校) 他に N 君が家庭学校から試験外泊	利用契約に基づき約束事を確認し合い、生活面の支援開始	就労を継続できるよう支援	休まず登校(通信制はスクーリング)出来るよう支援	就労先、学校との連携 試験外泊中の N 君については入所施設・学校と連携 (3/3 に退居)
1. 19	事業開始を通知				遠軽町、道オホーツク総合振興局、児相、児童養護施設、家裁ほかにホーム開設の通知を送付
2. 6	旭川児相より入居照会 (1/27) のあった B 君が見学来訪・面談 (入居希望)			定時制に入学希望あり、受験について確認	
2. 17	家庭学校入所中の T 君、寮長と見学来訪				
2. 20	新設ホーム職員研修会に参加 (東京・清水夫妻)				全国自立支援ホーム協議会主催
2. 24	旭川児相より B 君入居	転入手続き生活環境を整える	ハローワークにて求職活動 3/2 就職決定	定時制 2 次募集の受験準備	
3. 23	札幌市児相より入居照会			定時制受験手続き確認	
3. 26	家庭学校の T 君体験入居			定時制への編入意向あり、編入手続き確認	

3. 27	札幌市児相の T 君が見学・面談（翌日、定時制 2 次募集の受験）				
3. 28	B 君、T 君定時制 2 次募集受験	入学に向けた準備		入学手続きに着手	遠軽高校定時制 札幌市児相

見学来訪者 遠軽町民生部職員 東京・自立援助ホーム職員 神奈川・大学教員 道内児相職員
望の岡分校教員 家庭学校退職職員

I. 組織体制について

1) 役員

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
理 事 長	永 井 信	理 事	佐 藤 京 子
理 事	坂 本 満	理 事	佐々木雅昭
理 事	家 村 昭 矩	理 事	熱 田 洋 子
理 事	森 下 一 彦	常 務 理 事	仁 原 正 幹
理 事	齋 藤 義 信	監 事	辻 一 憲
理 事	太 田 充 子	監 事	枝 松 邦 幸

2) 嘱託医、顧問、苦情解決第三者委員、事故防止対策委員

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
嘱託医（精神科）	太 田 充 子	苦情解決第三者委員	藤 江 昭
嘱託医（内科）	瀧 本 玲 子	苦情解決第三者委員	熊 谷 憲 子
嘱託医（歯科）	東 海 林 浩 二	事故防止対策委員	木 村 一 則
顧 問 弁 護 士	村松法律事務所 村 松 弘 康	事故防止対策委員	高 橋 久
		事故防止対策委員	塚田由美子
山 林 顧 問	森 島 直 樹	事故防止対策委員	神 谷 博 之
山 林 顧 問	佐 藤 盛 市	事故防止対策委員	仁 原 正 幹

嘱託医には、健康診断を中心に入所児童の健康状況を診ていただいた。

顧問弁護士には、児童間の暴力事件に係る法的な助言をいただいた。

第三者委員及び事故防止対策委員には、合同の会議を開催し、家庭学校と児童の状況を報告し、助言をいただいた。

苦情解決第三者委員会・事故防止対策委員会の開催状況

第 1 回合同会議 平成 29 年 2 月 6 日開催

・家庭学校の現状について

3) 北海道家庭学校百年史編集委員会

任期 平成26年8月30日から平成29年3月31日まで

委員長	永井 信	社会福祉法人北海道家庭学校 理事長
副委員長	二井 仁美	北海道教育大学旭川校 教授
委員	大泉 溥	日本福祉大学 名誉教授
〃	富田 拓	国立きぬ川学院 医務課長
〃	河原 英男	遠軽町教育委員会 教育長
〃	森田 穰	北見市立東小学校 校長
〃	佐藤 京子	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	家村 昭矩	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	熱田 洋子	社会福祉法人北海道家庭学校 理事
〃	仁原 正幹	社会福祉法人北海道家庭学校 校長
〃	軽部 晴文	社会福祉法人北海道家庭学校 副校長
〃	楠 哲雄	社会福祉法人北海道家庭学校 自立支援部長
〃	平井 敬二	社会福祉法人北海道家庭学校 企画総務部主幹
〃	姜 京任	社会福祉法人北海道家庭学校 心理士

編集委員会の開催

第4回 平成28年7月17日

- ・広報的出版物の出版計画について ・執筆要項について
- ・進捗状況について ・予算について

(4) 職 員

平成28年度在職職員及び事務分掌は、次のとおりです。

職 名	氏 名	職 務 内 容 ・ 事 務 分 掌
校 長	仁 原 正 幹	総括
ホ ム 長	熱 田 洋 子	がんばろうホーム総括
企 画 総 務 部 長	軽 部 晴 文	企画総務部総括（副校長兼務：全体総括）
主 幹	平 井 敬 二	法人本部事務（兼）施設事務・会計
主 任	加 藤 留 美	施設事務（兼）法人本部事務・会計
主 任 栄 養 士	伊 東 睦 子	栄養管理 給食献立作成（29.3退職）
自 立 支 援 部 長	楠 哲 雄	自立支援部総括
児童自立支援専門員	鬼 頭 庸 介	主幹（本館業務・作業指導） 蔬菜班指導
〃	楠 美 和	主幹（寮運営業務・生活指導） 園芸班指導
〃	坂 本 英 人	本館職員 山林班指導（28.9退職）
〃	水 原 学	石上館寮長 蔬菜班指導（29.3退職）
〃	千 葉 正 義	楽山寮長 校内管理班指導
〃	竹 中 大 幸	本館職員 山林班指導

〃	藤 原 浩	掬泉寮長 園芸班指導
〃	西 本 祥 之	調理担当（２８.８退職）
〃	木 元 勤	本館職員 中卒クラス担当（２８.９採用）
児 童 生 活 支 援 員	水 原 詩 乃	石上館寮母 給食調理（２９.３退職）
〃	岸 田 珠 季	楽山寮母 給食調理
〃	藤 原 美 香	掬泉寮母 給食調理
児 童 生 活 指 導 員	清 水 真 人	向陽寮担当 １月からがんぼうホーム
〃	清 水 律 子	向陽寮担当 １月からがんぼうホーム
〃	加 茂 文 明	本館職員 山林班指導（２８.１０採用）
〃	前 谷 典 弘	本館職員（２９.３採用）
心 理 士	姜 京 任	心理担当
職 業 指 導 員	夔 本 賢 治	酪農班担当
〃	夔 本 広 美	酪農班担当
嘱 託	白 石 明 美	給食調理（２９.３退職）
〃	武 田 真 紀 子	給食調理
〃	甲 田 友 紀	給食調理
〃	岩 井 紀 昭	給食調理（２９．３採用）

役職員・外部委員の数

理 事	１０名
監 事	２名
嘱託医（精神科 内科 歯科）	３名
山林顧問	２名
顧問弁護士	１名
苦情解決第三者委員	２名
事故防止対策委員	５名
百年史編集委員	１４名

職員数

北海道家庭学校	２７名	平成２９年３月３１日現在
（内 訳） 校 長	１名	
副校長	１名	
事務職	２名	
栄養士	１名	
児童自立支援専門員	７名	
児童生活支援員	３名	
児童生活指導員	２名	
心理士	１名	

職業指導員	2名
嘱託職員	9名
（調理員	4名）
（嘱託医	3名）
（博物館・図書館担当	2名）

がんぼうホーム 4名

（内 訳） ホーム長	1名（専門員を兼ねる）
児童自立支援専門員	2名（家庭学校と兼務）
児童生活指導員	2名（家庭学校と兼務）

Ⅱ. 理事会に関すること

1. 理事会の開催状況

開 催 日	議 件
第1回 平成28年5月20日	・平成27年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第3次補正）について
	・平成27年度事業報告及び決算報告について
	・自立援助ホーム新築に係る入札について
	・社会福祉法人北海道家庭学校有期契約職員就業規則の一部改正について
第2回 平成28年11月22日	・平成28年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第1次補正）について
	・「がんぼうホーム」の基本財産編入及び不動産の登記に関する証明願いの提出について
	・社会福祉法人北海道家庭学校の定款の一部変更について
	・自立援助ホームの開設に伴う、平成28年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画の一部追加について
	・社会福祉法人北海道家庭学校児童自立生活援助事業がんぼうホーム運営規程の制定について
	・自立援助ホーム「がんぼうホーム」倫理綱領の制定について
	・社会福祉法人北海道家庭学校経理規程の一部改正について
	・社会福祉法人北海道家庭学校公印規程の一部改正について
	・社会福祉法人北海道家庭学校組織規程の一部改正について
第3回 平成29年3月21日	・評議員選任候補者の推薦について
	・評議員選任・解任委員会の設置について
	・理事の選任について

	・平成 28 年度社会福祉法人北海道家庭学校一般会計予算（第 2 次補正）について
	・平成 29 年度社会福祉法人北海道家庭学校事業計画及び一般会計予算について
	・社会福祉法人北海道家庭学校経理規程の一部改正について
	・社会福祉法人北海道家庭学校組織規程の一部改正について

2. 監事監査の実施状況

平成 28 年 5 月 18 日	平成 27 年度決算監査
平成 28 年 9 月 13 日	定期監査
平成 28 年 12 月 22 日	定期監査
平成 29 年 3 月 17 日	定期監査

Ⅲ. 諸規程の整備について

関係法制度等の動き、家庭学校の運営や職員の勤務実態に即して、次のとおり諸規程を整備しました。

1. 定款の一部改正

- ・自立援助ホームの開設に伴い、目的の一部を改正した。
- ・社会福祉法の改正に伴い、評議員を設置することなど一部を改正した。

2. がんばろうホーム運営規程の制定

- ・自立援助ホームの開設に伴い、ホームの適正な運営を図るために制定した。

3. がんばろうホーム倫理綱領の制定

- ・自立援助ホームの開設に伴い、利用者の自立に向けた援助の基本として制定した。

4. 経理規程の一部改正

- ・がんばろうホームの開設に伴い、拠点区分を追加するため一部改正した。
- ・規程の表現を現状に沿うよう一部改正した。

5. 校印規程の一部改正

- ・がんばろうホームの開設に伴い、「ホーム長」印を加えるため一部改正した。

6. 組織規程の一部改正

- ・がんばろうホームの開設に伴い、現状に沿うよう一部改正した。

7. 有期契約職員就業規則の一部改正

- ・特定個人情報取扱規程の制定に伴い、条文の整合性をとるため一部改正した。

Ⅳ. 主要工事・新規購入について

- 1 自立援助ホーム「がんばろうホーム」新築工事 55,870,560 円（設計費用込み）
国、道からの補助金 3,249 万円
- 2 トラクター更新 13,357,280 円（本体・アタッチメント・ロールペーラー含む）

V. 入所児童の現況について

1. 入所児童について

1) 28年度における児童の入退所状況（初日在籍人数及び各月の入退所数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
在籍者数	21	23	24	24	23	25	24	26	25	25	23	24	月平均 24
入所者数	3	2	1	0	2	1	2	1	0	0	1	2	15
退所者数	1	1	1	1	0	2	0	2	0	2	0	11	20

2) 平成28年度における退所者の進路等の状況

進路先		人数	進路先		人数
家庭復帰	復学	2	他の児童福祉施設への措置変更		5
	進学	4	不結果（児相に再判定依頼）		3
	就職	0	がんぼうホームへの移籍		2
	その他	1			
直接就職		3	計		20

3) 児童相談所別入退所の状況

区分	中央	函館	室蘭	岩見沢	旭川	帯広	釧路	北見	札幌市	計
入所	2	4	1	0	1	1	0	1	5	15
退所	4	0	1	1	3	2	2	0	7	20

2. 寮運営について

28年度は一般寮3寮（石上館 掬泉寮 楽山寮）高校生寮1寮（向陽寮）を開設した。

高校生寮は、1月に在籍児童2名が「がんぼうホーム」の開設に伴い移籍したため閉寮した。

掬泉寮担当を楠哲雄・美和夫妻から、藤原浩・美香夫妻に交代した。

向陽寮担当を5月より清水真人・律子夫妻が担当し、9月から熱田洋子理事も寮運営に加わった。

3. 作業班学習について

月曜・火曜・木曜日の午後、蔬菜班、園芸班、山林班、校内管理班、酪農班の5班に分かれ、作業班学習を行った。

活動内容については11月17日、18日の両日作業班学習発表会を行った。

各作業班における主な活動内容は次のとおりです。

	蔬菜班	園芸班	山林班	校内管理班	酪農班
4月	ビニールハウス補修・造営 苗仮植	花の苗の仮植 温床用ハウス組立	安全講習 薪作 桜山整備	校舎周辺環境整備 スノーポール撤収	バター小屋片付け 電牧張り 牛のブラッシング

5 月	野菜苗植え付け 播種	花の仮植 播種 花壇の畑作り	山菜収穫 林道倒木整理	平和寮浴室補修 味噌作り	除草 徐角 牛舎窓拭き サイレージ片付け
6 月	野菜の苗の定植 雑草抜き	花の苗定植 花壇の畑作り	山菜収穫 林道倒木整理	平和寮浴室補修 山菜収穫	牧草収穫
7 月	牧草収納応援 移殖	花の苗定植 花壇の除草	環境整備	平和寮浴室補修	牧草収穫 サイレ ージ拡張工事
8 月	追肥 野菜収穫	花壇の除草	灌木整理		除草 電牧整備
9 月	秋野菜の播種 野菜収穫	花壇の除草 環境整備 花の苗の仮植	林道整備	排水土管交換 サイレージ拡張工 事	サイレージ製造 バンカーサイロ作 り
10 月	野菜の収穫 落ち葉集め 天地返し	ドライフラワー作 り 土作り 花壇の後片付け	神社山整備 倒木整理	サイレージ拡張工 事	環境整備 バンカーサイロ作 り
11 月	作 業 班 学 習 発 表 会				
12 月	野菜の保存	土焼き	除雪	スノーボール設置 クリスマスリース 作り リフト設置	バター製造 徐角
1 月	除雪	除雪	除雪 スキー大会準備	間伐	バター製造
2 月	除雪 間伐	播種 育苗 除雪	除雪 スキー大会準備	間伐	除雪 バター製造
3 月	除雪 間伐	温床整備 播種 育苗	間伐	間伐	除雪 バター製造

4. 事故等の発生状況

1) 事故発生状況

無断外出	1 件	1 名	発生当日に町内で保護
不法行為	1 件	3 名	ビデオ店より DVD 窃盗事件
性的逸脱行為	1 件	7 名	児童間の逸脱行為（楽山寮）
生徒間の暴力	1 件	2 名	左目を殴打（眼窩底骨折）札幌医大受診
車両による事故	1 件	1 名	作業中の車両が児童に接触 整形外科受診（軽度打撲）

過去5年間の無断外出の発生状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
件数	3	6	10	10	1
述べ人数	8	13	17	17	1

2) 苦情の申し出状況

苦情受け付け箱（希望の声）を本館と給食棟の2カ所に設置し、児童の意見表明の機会を設けている。

28年度の苦情受け付け状況

寮担当職員の対応について	2件	苦情解決者が対応し解決
寮生への苦情	1件	苦情解決者が対応し解決
無記入	1件	苦情受け付け者が全校に口頭で報告

3) 一群アンケートの実施状況

月に一度全校生にアンケートを実施。

5. クラブ活動について

5月から10月まで、土曜日の午前中にクラブ活動を実施した。

種目は 体育館スポーツ（バトミントン・バスケットボール）・外スポーツ（野球）・合気道の3種目。

合気道は、吉野政明先生、棚橋先生にご指導いただいた。

6. 年間行事等の状況

4月	6日：一学期始業式 10日：朗読会 11日：散髪奉仕 21日：歯科検診 28日：内科検診
5月	3～4日：校長杯（ミニバレー・オセロ） 8日：朗読会 10日：花見の会
6月	6日：散髪奉仕 12日：運動会 15日：朗読会 29日：マラソン大会
7月	7～8日：東北北海道地区協議会職員研修会 13日：釣り遠足 13日：朗読会 25日：散髪奉仕
8月	1日：物故者慰霊祭 2日：斉美館草刈り清掃 4～15日：夏季一時帰省 18日：二学期始業式 18日：朗読会
9月	2日：相撲大会 5日：散髪奉仕 7日：朗読会 14日：マラソン大会 24日：創立記念日 28～30日：研修旅行
10月	17日：園遊会 19日：朗読会 24日：木彫コンクール 31日：散髪奉仕
11月	9日：朗読会 17～18日：作業班学習発表会 20日：収穫感謝祭

12月	5日：散髪奉仕 7日：朗読会 14日：音楽発表会 23日：クリスマス礼拝・晩餐会 28～1月10日：冬季一時帰省
1月	10日：三学期始業式 16～20日スキー学習 20日：スキー大会（大回転） 25日：朗読会 30日：散髪奉仕
2月	3日：スキー大会（滑降） 8日：朗読会 10日：雪像コンクール 16日：スキー大会（回転） 26日：湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会
3月	6日：散髪奉仕 15日：誕生会 20日：卒業証書授与式 24日：修了式 27～31日春季一時帰省

7. 会議の開催状況

会議を次のとおり行いました。

- ① 職員会議 … 定例開催（原則毎週水曜日午前）
- ② 成績査定会議 … 成績を査定し、三賞（努力賞・作業賞・学習賞）を決定する。
7月20日 12月14日 3月16日
- ③ 作業班編成会議 … 4月1日 8月16日 1月11日
- ④ 給食運営会議 … 毎月1回定例開催

8. 関係機関との連携・打合せ

・児童相談所との連携

児童相談所との連携を深めるため、入所児童の経過判定のための来校時や児童移送等での児相訪問時に打合せや意見交換を行いました。行事の際には各児童相談所に案内しました。

・関係機関との連携

卒業証書授与式には原籍校の校長などが出席しました。行事の際には案内しました。
遠軽高校定時制、紋別高等養護学校とは密接に連携を行いました。

9. 児童自立支援計画票の作成

5月と11月にはすべての入所児童の自立支援計画票を作成し、各児童相談所に送付しました。

VI 職員研修について

職員の資質の向上を図るために、外部の研修会にも参加しました。

校長	
・東北・北海道地区児童自立支援施設長会議	4月14日～15日：秋田市
・全国児童自立支援施設長会議	5月26日～27日：高知市
ホーム長	
・全国自立援助ホーム長研修会	5月24日～25日：名古屋市
・全国自立援助ホーム協議会	10月20日～21日：茨城県

企画総務部	
・社会福祉法人経営者セミナー	7月6日～7日：札幌市 平井主幹
・紋別地域保健室 栄養関係危機管理研修会	8月8日：紋別市 伊東主任栄養士
・改正社会福祉法対応実践セミナー	8月10日：札幌市 熱田理事
・児童福祉施設給食関係者研修会	10月13日～14日：札幌市 伊東主任栄養士
・社会福祉法改正緊急経営セミナー	11月20日～21日：札幌市 平井主幹
・社会福祉法人制度改革に伴う説明会	12月15日：北見市 平井主幹
自立支援部	
・平成28年度全国児童自立支援施設職員スーパーバイザー研修	6月14日～17日：埼玉県 楠主幹
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会	7月7日～8日：当番校 池内支援員
・発達障がい児の支援 国立きぬ川学院富田医務課長による講義	7月19日：(職場内研修) 全職員
・児童福祉施設心理職員経験交流研修会	9月5日～6日：札幌市 姜心理士
・望の岡分校・公開研修会	9月12日：鬼頭主幹 姜心理士
・全国児童自立支援施設職員研修会	9月28日～30日：富山市 千葉生活支援員
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会専門部会心理部会	10月6日～7日：北広島市 姜心理士
・オホーツク管内児童福祉施設職員研修会	10月24日：当番校 千葉自立支援専門員
・オホーツク地域児童虐待防止講演会	11月8日：北見市 水原支援員 姜心理士
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会職員研修会	11月20日～21日：青森市 竹中自立支援専門員
・東北・北海道地区児童自立支援施設協議会専門部会支援部会	11月30日～1日：七飯町 鬼頭主幹
・北海道自立支援施設研究協議会	12月6日～7日：七飯町 清水指導員
・北海道児童養護施設等基幹的職員研修会	1月23日～24日 2月20日～21日：札幌市 楠主幹
作業安全講習会	
・刈払い機作業者安全衛生教育	3月2日：鬼頭主幹 楠主幹 竹中専門員 木元専門員
・チェーンソー講習会	2月24日～25日：北見市 藤原自立支援専門員

VIII. 生産活動

1. 山林経営管理について

平成23年4月に森林法の一部が改正され、林班単位の面的まとまりのある森林を対象として森林経営を行うこととした。平成28年度は森林経営計画の4年目となり、森林組合に委託して、次の事業を中心に、材木の育成の促進及び健全化のための事業を実施した。

家庭学校の所有する山林は、遠軽町から湧別町にかけて約400haで、樹種は、天然林が42%、

カラマツが３２％、トドマツが２３％、他に、グイマツ、ミズナラ、トウヒ、赤エゾマツとストロブが植えられている。

〈林班別の面積・樹種〉

(遠軽町)

７１林班 ８８ha、天然林広葉樹、カラマツ、一部トドマツ
 ７２林班 ８ha、カラマツ、天然林広葉樹、トドマツ
 ７３林班 ３ha カラマツ、天然林広葉樹
 ７４林班 １２８ha 天然林広葉樹（７８ha）、トドマツ、カラマツ、グイマツ、赤エゾマツ
 ７５林班 ８２ha、天然林広葉樹（４３ha）、トドマツ、カラマツ、トウヒ、赤エゾマツ
 ７６林班 ４６ha 天然林広葉樹、カラマツ、トドマツ、赤エゾマツ、ストロブ

(湧別町)

１８林班 ２１ha カラマツ、グイマツ
 １９林班 ２３ha トドマツ、カラマツ

山林事業の実施状況

事業名	林班	樹種	事業面積ha	事業費	補助金	自己資金
造 林	71-8	カラマツ	5. 00	2, 048, 948	2, 044, 256	4, 692
下草刈り	71-17、20、21	カラマツ	3. 84	947, 592	850, 720	96, 872
	75-9		7. 18			
	76-5		1. 68			
	76-44		3. 28			
	71-8		10. 00			
間 伐	75-31		トドマツ			
				材売上げ 1, 379, 529 円		
野ねずみ駆除	71-17、20、21	カラマツ	3. 84	139, 024	105, 581	33, 443
	75-9		7. 18			
	76-5		1. 68			
	76-44		3. 28			
	71-8		5. 00			
皆 伐	71-8		カラマツ			

平成２８年度合計

(平成２７年度の状況)

収入 補助金	4, 168, 377 円	(6, 578, 892 円)
材売上げ	6, 578, 892 円	(7, 082, 635 円)
収入計	10, 747, 269 円	(13, 661, 527 円)
支出 事業費	4, 397, 384 円	(8, 350, 195 円)
総収支 (収入計－事業費)	5, 092, 522 円	(5, 311, 332 円)

2. 酪農経営管理について

トラクターを一台更新しました。併せてロールベアラーを導入し、これまでのコンパクト梱包と併用しました。

粗飼料の収量増につなげるため、農業改良普及センターに草地の生育状況を調査してもらいました。その結果3カ所の草地（⑦・⑧・⑨）の更新を勧められた。今後毎年計画的に実施したい。

採草地③については、一番草収穫後に放牧する兼用地利用を実施しました。

家庭学校の草地の状況

	通 称	面積 ha		通 称	面積 ha		通 称	面積 ha
①	向陽寮裏	0.64	⑤	住宅前	0.44	⑨	川口畑(大)	2.73
②	洗心寮前	0.34	⑥	礼拝堂裏	0.39	⑩	川口畑(奥)	1.37
③	神社山	1.42	⑦	四町畑	4.52	⑪	川口畑(小)	0.61
④	給食棟・楽山寮横	0.90	⑧	掬泉寮裏	0.52		計	13.88

○牧草の収穫 〈平成28年度〉

一番牧草					二番牧草				
刈取日	収納日	梱包 個数	ロール 個数	圃 場	刈取日	収納日	梱包 個数	ロール 個数	圃 場
6/27	6/30		6.5	向陽寮裏	8/12	8/14		5.0	向陽寮裏
			18.0	神社山				1.0	洗心寮前
			3.5	洗心寮前	9/1	9/5		16.0	川口畑 (大)
	7/1		12	楽山寮給食棟		9/4~5		9.0	川口畑 (奥)
			11.0	礼拝堂裏				3.0	川口畑 (小)
7/5	7/9	245		掬泉寮裏	9/19	9/26		2.0	礼拝堂裏 (礼)
	7/8		10	四町畑 (一部)				1.5	礼拝堂裏 (展)
	7/9	289		川口畑 (小)					
	7/7	579		川口畑 (大)					
	7/9	178							
	7/8		7	川口畑 (奥)					
	7/9	114							
小計		1,405	68.0		小計			37.5	
平成28年度 梱包個数合計 1,405 個 ロール合計 105.5 個 (平成27年度 梱包合計 3,985 個)									

サイレージの収納

一番牧草			二番牧草		
刈取日	収納日	圃場	刈取日	収納日	圃場
6/23	6/24	四町畑	9/12	9/12～14	四町畑
				9/14	掬泉寮裏
				9/15	楽山寮 給食棟

○飼育頭数

年齢	経 産 牛							育 成 牛			総計
	7-10	6	5	4	3	2	小計	1	0	小計	
28年4月	1	4(1)	3	3(1)	5(2)	7(2)	23(6)	7(2)	6(3)	13(5)	36(11)
29年3月	5(1)	3	2(1)	4(2)	7(2)	1	22(6)	4(2)	8(3)	12(5)	34(11)

() 内は、ジャージーの頭数で、内数である。

	平成28年度	平成27年度
分娩件数	21件	19件
生産乳量	138.3 t	135.2 t
生乳販売金額	10,860,482円	10,860,482円
個体販売頭数	24頭	20頭
個体販売金額	4,360,382円	2,516,441円
バター生産量	139.7 kg	118.6 kg
生産個数	621個	527個

Ⅷ 見学等の来校者の対応状況

月	件 数	人 数	10月	7件	55名
4月	3件	30名	11月	2件	19名
5月	8件	33名	12月	1件	3名
6月	12件	81名	1月	1件	11名
7月	11件	82名	2月	1件	20名
8月	3件	16名	3月	2件	5名
9月	8件	104名	計	59件	459名

(実習生・研修生等は除く)